

全国各地で活動が盛んなオカリナ。
フルート奏者や愛好家の方がオカリナを楽しんでいるケースも最近では増えています。
ここでは、楽器の選び方から種類、購入時のチェックポイントを紹介していきます。



・オカリナの吹き方

実際にオカリナを吹いてみましょう。

コンパクトな楽器なので、持ち方や姿勢のポイントをしっかりと意識して吹くことができます。

1. 取り扱いの注意点

オカリナは陶製で壊れやすいので、落下などに十分注意が必要です。演奏にのみを過ぎた後からならぬが、何となくおろそかに扱ってしまいがちです。扱いに慣れてくると、またおろそかに扱ってしまうと音程が狂ってしまったり、手を荒らしたりしてしまいます。



楽器を丁寧に扱う

2. 楽器を持ってみよう

演奏の姿勢を崩さず楽器は丁寧に扱っていきましょう。

オカリナは陶製であるため、取り扱いには注意が必要です。持ち方は必ず指の腹で握りましょう。演奏の際はオカリナの指板によって握りますが、リードは指板に添って、少し斜めに持ちます。フリップも必ず演奏の際は、必ず手で握り、演奏の際は必ず手で握ります。リードは指板に添って、少し斜めに持ちます。楽器の演奏は必ず指板の裏側に添って握ります。これはあくまでも参考ですので、必ずに両手を添えて指板の裏側に添って握りやすい状態を探しましょう。



側面から見た図



正面から見た図



片手を握って指板を上から見た図

3. 姿勢と息の使い方は？

指が力が入ってしまったり、息が浅い状態では吹くことができません。正しく吹く場合は胸や背に力が入りすぎず、リラックスした状態で、喉の奥に舌を軽く触れます。息を吐くときは胸の奥に力が入りすぎず、リラックスした状態で、胸の奥に舌を軽く触れます。息を吐くときは胸の奥に力が入りすぎず、リラックスした状態で、胸の奥に舌を軽く触れます。息を吐くときは胸の奥に力が入りすぎず、リラックスした状態で、胸の奥に舌を軽く触れます。

4. 掃除もきちんと

口は清潔に。演奏の際は必ず口の中を清潔に保ちましょう。演奏後は、楽器の中に入っている水分が乾燥しないように、吹口を清潔に保ちましょう。吹口は必ず清潔に保ち、演奏の際は必ず清潔に保ちましょう。吹口は必ず清潔に保ち、演奏の際は必ず清潔に保ちましょう。

